

## 令和8年1月9日付の日本農業新聞の記事『“不健康食”に「戦争宣言」』に関する精糖工業会としての見解

### 《記事の概要》

令和8年1月9日付の日本農業新聞の記事『“不健康食”に「戦争宣言」』においては、副題に「過度な加工品・砂糖を問題視」、リードには（米国連邦）「政府は（食品に）添加された砂糖や過度に加工された食品への戦争を宣言する。」、本文には、（米国連邦政府の改定した食品）「指針では加工済みで、すぐに食べられる食品などの摂取を減らすよう推奨。砂糖が入った炭酸飲料やエナジードリンクの飲用も避け、1回の食事に加えられる砂糖は10グラム以下に抑えられることを求めた。」と記載しています。また、同記事においては、「世界保健機関（WHO）は平均的な成人で1日の砂糖摂取量を25グラム程度に抑えるよう推奨している。」と記載しています。

なお、同記事には、【ワシントン共同】の記載がなされています。

### 《弊会としての対応》

この記事に関しては、“sugars”を「糖類」とすべきところを「砂糖」と訳した「誤訳」に基づくものであり、原文では定義も明記されており、基本的な確認がなされていません。

弊会としては遺憾であり、今回のような確認不足や誤訳がないよう、日本農業新聞社及び共同通信社に対し、以下のような見解について考えを質しているところです。

### 《弊会としての記事に関する見解》

1. 記事の中で引用されている「連邦政府が改定した食品指針」（Dietary Guidelines For Americans (2025-2030)）と「WHOの指針」（World Health Organization. Guideline: Sugars Intake for Adults and Children. World Health Organization, Geneva; 2015.）における一般的な用語の使い分けについて、まず説明いたします。

“sugar”は一般的には「砂糖」、「sugars」は「糖類」、清涼飲料水で入っている“high-fructose corn syrup”は「異性化糖（果糖ぶどう糖液糖）」を指します。「連邦政府が改定した食品指針」の中の“added sugars”、「WHOの指針」の中の“free sugars”は“sugars”ですから、「砂糖」ではなく「糖類」で、それぞれ、「添加糖類」、「遊離糖類」と訳されます。

【以下、同記事で引用されている原文】

i) 連邦政府が改定した食品指針「Dietary Guidelines For Americans (2025-2030)」の原文においては、「Limit Highly Processed Foods, Added Sugars, & Refined Carbohydrates」、  
「While no amount of added sugars or non-nutritive sweeteners is recommended or considered part of a healthy or nutritious diet, one meal should contain no more than 10 grams of added sugars. 」と記載されています（下線は工業会追記）。

ii) WHO の指針「World Health Organization. Guideline: Sugars Intake for Adults and Children. World Health Organization, Geneva; 2015.」においては、「In both adults and children, WHO recommends reducing the intake of free sugars to less than 10% of total energy intake (*strong recommendation*).」、「WHO suggests a further reduction of the intake of free sugars to below 5% of total energy intake (*conditional recommendation*).」とされています（下線は工業会追記）。なお、同記事において、世界保健機関（WHO）は平均的な成人で1日の砂糖摂取量を25グラム程度に抑えるよう推奨している。」との記載は、「*conditional recommendation*」の「below 5%」を換算したものです。

2. 次に、「連邦政府の食品指針」では、原文で、“added sugars”について、“Added sugars may appear on ingredient labels under many different names, including high-fructose corn syrup, agave syrup, corn syrup, rice syrup, fructose, glucose, dextrose, sucrose, cane sugar, beet sugar, turbinado sugar, maltose, lactose, fruit juice concentrate, honey, and molasses.”と定義されており、「砂糖」特定ではなく「糖類」であることは明らかなです。この中の“cane sugar, beet sugar”（甘しゅ糖、てん菜糖）が「砂糖」に当たります。

また、「WHO の指針」では、原文で“free sugars”について、“Remarks”で“Free sugars include monosaccharides and disaccharides added to foods and beverages by the manufacturer, cook or consumer, and sugars naturally present in honey, syrups, fruit juices and fruit juice concentrates.”と定義されており、こちらも「糖類」であることは明らかなです。

3. なお、両指針とも栄養学的見地でのものですので、「砂糖」ではなく「糖類」と訳すべきところです。

4. 以上のように、今回の記事は、原文の確認なく、sugars（糖類）と sugar（砂糖）の違いの認識がなく誤訳記事を報道することは、読者に対して「砂糖」への過度な誤解を与え、国内の糖業を初め砂糖産業全体に多大な影響を及ぼしかねないものです。

以上のことについては、砂糖の所管部局である農林水産省農産局地域作物課にも共有しているところです。

【参考 URL】

1. 米国連邦政府の食品指針 2025-2030 「[Dietary Guidelines For Americans \(2025-2030\)](https://cdn.realfood.gov/DGA.pdf)  
(<https://cdn.realfood.gov/DGA.pdf>)
2. WHO の指針 「[World Health Organization. Guideline: Sugars Intake for Adults and Children. World Health Organization, Geneva; 2015.](https://www.who.int/publications/i/item/9789241549028)」  
(<https://www.who.int/publications/i/item/9789241549028>)

以 上